

うに郷通信

No.170
令和5年(2023)9月

発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

夏休み子ども塾～みんなで一緒にカレーを作ったよ!!～

8月8日(火)午前9時、思い思いの宿題を持って、子ども達21人が宇仁小学校に集まってきました。暑い日でしたが熱気でさらに温度急上昇!! ガムテープに書いた名札を貼り付け、自己紹介をして、今年も夏休み子ども塾が始まりました。

今年の夏休み子ども塾は、カレーを自分たちで作ってみんなで一緒に食べるという計画にしました。1・2年生は米を洗います。もうそれは大変!! でもちゃんとできました。3・4年生は野菜の皮むき、ピーラーで丁寧にじゃが芋の皮をむきました。むきすぎてちょっと小さくなったかな? 5・6年生は野菜のカット、さすがに上手に切ってくれました。カレーを煮込んでいる間に宿題を各教室でしました。

カレーが美味しく出来上がりましたよ! ホールで一堂に会食する予定でしたが、残念ながらあまりもの暑さに負けて、各教室でいただくことになりました。「イタダキマース!!」みんなカレーが大好き!! たちまちルーはなくなってしまいました。😊

午後からは、宇仁小学校子供会の計らいで、加西警察署と吉澤駐在さんによる交通教室を体育館で開きました。暑い中子ども達は熱心に聞いていました。白パイもやってきて見学も出来ました。お世話になりありがとうございました。その後は水分補給と休憩を挟みながら、学生ボランティアさんとじゃんけん列車や、ドッジビーなど汗だくになりながら楽しみました。小学校の協力のもとあっという間の1日が終わってしまいました。学生ボランティアさんお世話になりありがとう!! 事故もなく、けがもなく無事に終わりました。以下は学生ボランティアと子どものコメントです。



*2年ぶりの開催となりましたが、多くの人に参加してもらうことが出来、とても嬉しかったです。みんなで分担してカレー作りを行いました、とても上手に、そして楽しそうに作っていてよかったです。そうしてできたカレーはとても美味しかったようで、皆さんの「オイシイ!」という笑顔が溢れていて、とても素敵でした。地域の人や大学生、友達と協力して楽しい一日を過ごすことが出来るという経験は、宇仁小学校の皆さんにとってとても貴重な機会だと思います。私にとっても、夏休みにみんなと思い出を作ることが出来たとても良い一日となりました。ぜひ来年も参加してもらえればと思います。

学生ボランティア 上田

*一生懸命に勉強したり、全力で遊んだり、時に助け合ったりする子ども達の姿には心打たれました。わずか1日でしたが、明るく元気で、素直で優しい子ども達と共に活動ができ、素敵な思い出になりました。子ども達にとっても夏休みの良い思い出になってくれたらと思います。ありがとう。

学生ボランティア 西嶋

*大学生の皆さんに宿題のアドバイスをもらったり、一緒に遊んだり、いろんな話ができて楽しい1日になりました! ありがとうごさいました。

6年生 穂星

*大学生のお姉さんに教えてもらいながら一緒にお米をといで、そのお米をカレーライスにもらっておいしく食べて嬉しかったです。

2年生 優花

*カレーもドーナツもゼリーも「ゼーんぶおいしかった!」お兄ちゃんお姉ちゃんが優しくしてくれて嬉しかった。パパ(白パイ)と警察官が来てくれてかっこよかった。来年も行きたい!

1年生 遵

(ふれあい交流広場)

「宇仁っ子ふるさとガイド隊」スタート!

7月6日の午後、宇仁小学校4年生の6人の児童と歴史史料館の館長他2人のメンバーで、「水」と宇仁の地域について交流をしました。令和5年度の宇仁っ子ふるさとガイド隊として、子ども達は、水の大切さや、この地域の歴史の中での水との関わりについて学ぼうとしているようです。

質問の内容は、水の入手や節水、食事や洗濯、お風呂など水道が来るまでの生活の様子、昔の感染症や災害の問題など多岐にわたりました。

館長の山田さんからは、水の入手については、宇仁の地域だけで、62もの大小のため池で稲作を行ってきたことや、井戸水を食事や飲み水、お風呂にも使っていたこと、また、そのお風呂に水を入れたり、薪で沸かししたりすることは、子どもの仕事だったなどのお話もありました。

新や水も大切だったことから、となり同士で交互に「もらい風呂」の風習があったことなど、節水についても興味深いお話がありました。

昨年のガイド隊は、宇仁小学校や八王子神社など地域の歴史を学習し、コスモスマつりで見事な発表をしてくれました。今年の4年生は全員で6人のクラスですが、キビキビとした質問の様子に、昨年同様今年のコスモスマつりでの発表が大いに楽しみです。

(宇仁郷歴史資料館 毎日曜日午前9:30～12:00開館)

大歳神社で子ども相撲



田谷町下垣内では毎年7月10日に大歳神社で子ども相撲を行っています。昨年は、コロナウィルスの拡大もあり、背中合わせに「尻相撲」を行いましたが、今年は3年ぶりに取っ組み合いの相撲を行いました。みんな元気に組み合っている姿を見て、私たち大人も興奮しました。

相撲を取り終えた子ども達は、お祷主の常峰さんからお菓子とジュース、それに当日供えられたお費錢を分けてもらって帰りました。

このような昔から引き継がれてきた行事も、子どもの減少とともに消滅している地域が増えております。つながりを絶やさない地域づくりを進めるためにも大切に守っていきたい行事だと思いました。(田谷町区長 小川初男)

サイサイまつりに出店

宇仁の朝市は去る8月6日(日)に開催されたサイサイまつりに昨年に続き出店しました。今年の販売時間は午後3時から7時(昨年は午後5時から7時)でしたが、3時に品揃えて出発したため新鮮な野菜を待ち望んでいるファンから、「今年は来ないのですか、3時から販売ですよ」と電話があるありさまで、陳列台に並べるやいなや、欲しい野菜を手にしてレジの行列待ちをする状態となりました。特に、まくわうり、加古川メロン、ナス、キュウリ等があつという間に完売となりました。

当日は市役所1階ロビーに設置された「ふるさと加西PRブース」内での出店で、宇仁の朝市以外では、更生保護女性会、但陽信用金庫加西支店、姫路ヴィクトリーナ、防衛省自衛隊青野原分駐所、加西市観光研究会、加西市立加西特別支援学校の各団体がPRや物品販売を行い賑わっていました。



(朝市部会)

宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達⑱

宇仁郷まちづくり協議会

10. 小学校を5校にする統廃合案が突如浮上(その1)

平成22年6月18日の神戸新聞に加西市の11校の小学校を5校に統廃合する案が掲載されました。それは2年前の11校の小学校を6校に再編し宇仁小学校をパイロットスクールとして存続し、新用地に新校舎を建設する方針(No.164令和5年3月号)を覆す構想でした。掲載記事は「加西市は6月17日、市内11小学校を5校に統廃合し、小中一貫教育を実施する計画の素案を発表した。今夏にも有識者らが素案を基に協議する検討委員会立ち上げ、1年以内に同委から答申を受ける予定。統廃合でコストを削減し、教育環境の整備などに生かす方針だ」と述べています。

素案は、全国に誇れるハイレベルな教育都市の実現。施策①は市立11小学校を5校に再配置し、北条小+富田小=北条小、北条東小(単独)、賀茂小+下里小=善坊小、九会小+富合小=加西小、日吉小+宇仁小+西在田+泉小=泉小に統廃合。施策②は小学校1年生から中学3年生までの義務教育9年間連続した学校づくりを実施、現在ある中学校に隣接して新たな小学校を建設する。この構想を検討するため有識者による「学校在り方検討委員会」を平成22年8月に立ち上げ平成23年7月に検討結果をまとめ市長に提言するという内容でした。

加西市が宇仁パイロットスクール建設の表明から統合に転じた節操のなさに怒りを覚えた次第です。

加西市が素案

小学校を5校に統廃合

小中隣接で一貫教育へ

加西市は17日、市内11小学校を5校に統廃合し、小中一貫教育を実施する計画の素案を発表した。今夏にも有識者らが素案を基に協議する検討委員会を立ち上げ、1年以内に同委から答申を受ける予定。統廃合でコストを削減し、教育環境の整備などに生かす方針だ。(藤村有希子)

H22.06.18 付神戸新聞